

インターネット上の情報、 その性質と、上手な付き合い方

「インターネット上の情報」というと、ニュースサイトや企業のHPなどが思い浮かびますが、実際には掲示板サイトや個人が運営しているサイトなど、インターネット上に存在する全ての書き込みをそう呼ぶことができます。

では、そのインターネット上の情報には、どのような特性があるのでしょうか。

他の情報メディアとの違い

インターネット上の情報と本や新聞・テレビなどのメディアの情報との大きな違いは、情報が発信されるまでの過程にあります。インターネット上には、いつでも誰でも、気軽に、簡単に情報を発信することができ、そのことが、他のメディアに比べてインターネットの利便性を高めている要因の一つとなっています。



正確ではない情報の存在について

「誰でも気軽に情報発信できる」ということは、真偽のわからない情報もまた多く発信されている可能性が大きいということでもあります。

インターネットを使い始めたばかりの子どもたちは、このようなインターネット上の情報の「信ぴょう性」についての理解不足から、見つけた情報をそのまま信じてしまいがちです。ネットパトロールにおいても、悪意を持って書き込まれた偽りの情報を鵜呑みにし、噂を広めるなどしてトラブルに発展している例も検出されています。

正しい情報を見つけるために

インターネット上の情報を有効に活用するためには、本や新聞など他のメディアからも情報を集め、複数の情報をよく見比べて、その真偽を判断する必要があります。特に個人が発信している情報については、その人の考え方が強く反映されていることもあるため、あくまでも一つの意見として扱い、決して鵜呑みにしないことが大切です。



指導の要点

今月の内容は、インターネットの特性の一つである「信ぴょう性」についてです。

小学校の社会科や中学校の技術科などにおいて、インターネットを活用して情報収集をさせる際、学校図書館などで得られる情報と比較させるなど、常に情報の真偽を確かめる習慣を身に付けさせることが大切です。

また、インターネット上に真偽のわからない情報を発信することの危険性についても、併せて指導しましょう。